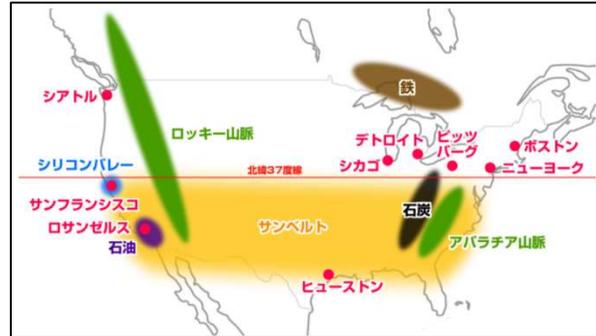


	アメリカの工業	学習日 月 日	名前:
--	----------------	---------	-----

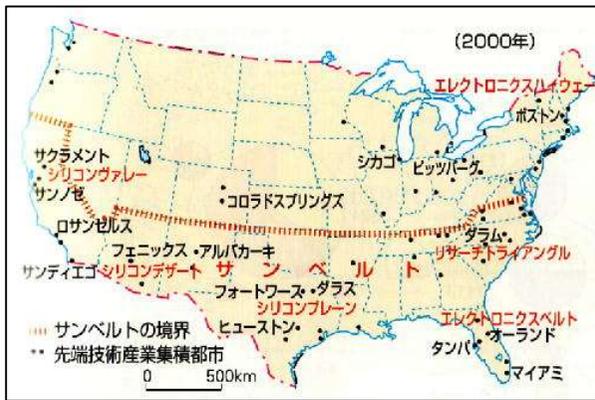
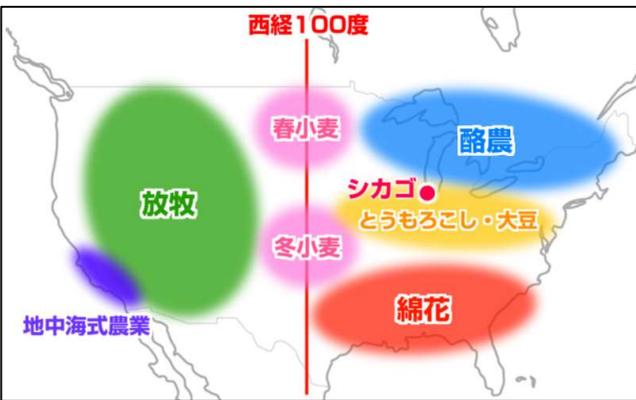
1. 工業地域と地下資源

- (1) … 新期造山帯、石油が取れる(= カリフォルニア油田)
- (2) … 古期造山帯、石炭が取れる(= アパラチア炭田)
- 山脈以外の平らなところ(安定陸塊)では鉄鉱石が採れる …
- (3) … 北部が有名、メサビ鉄山など



各都市の工業

- ピッツバーグ・シカゴ … (4) = 近くで鉄鉱石と石炭が採れる
- デトロイト … (5) = ピッツバーグやシカゴで作った鉄から自動車を製造
- ロサンゼルス … (6) = 近くで石油が採れる、(7) = 航空機の燃料は石油
- ヒューストン … (8)
- シカゴ … 鉄鋼・農業機械・食品 = トウモロコシや大豆を作っているエリア
- (9) … 北緯 37 度以南の地域、1970～80 年代に発達してきた工業の中心地
- (10) … 五大湖周辺や東海岸北部、サンベルト以前から工業がさかん
- (11) … 先端産業
- シアトル … 航空機産業
- ※ その他に、エレクトロニクスノイウエイ(ボストン)、リサーチトライアングル(ダラム)、エレクトロニクスベルト(タンパ)、シリコンプレーン(ダラス)、シリコンデザート(フェニックス)などがある
- ボストン … 綿工業 = 南部で生産した綿花を利用、電子産業



2. 自動車工業

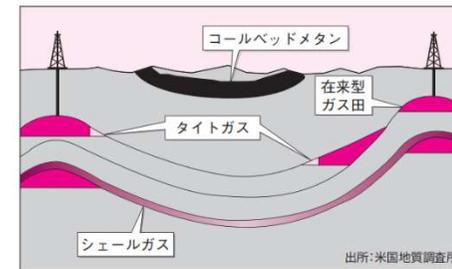
1973 年 (12) → 日本車の輸入急増
 1980～93 年 自動車生産で(13)が世界一位 → 自動車をめぐる日米貿易摩擦
 → 日本の自動車企業がアメリカでの現地生産に力を入れる
 ※ 現地の工場で生産することにより現地の人を雇うことができる

1994 年～ 自動車生産でアメリカが再び 1 位となる
 2009 年～ 中国が世界 1 位

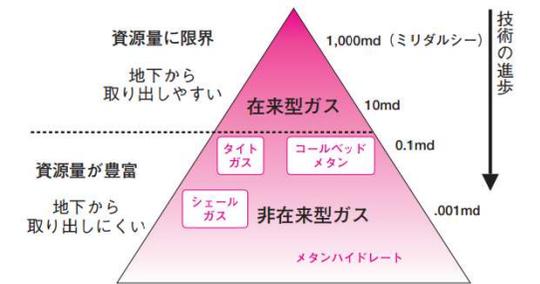
3. シェール革命(ガス为例に)

在来型ガス田の他に、技術が進歩し採掘できるようになったガス田 … タイガス、コールベッドメタン、シェールガス等
 ※ アメリカでは、在来型ガス田に残された天然ガスの 60% もの非在来型ガス田が発見されている
 → アメリカでは天然ガスの価格が下落、EU の半分、日本の 3 分の 1 になる
 → アメリカで LNG に加工し、輸出するという形が検討されている

日本の周辺海域では(14)が発見されている = 燃える氷



非在来型天然ガス資源の賦存環境(アメリカ合衆国のチャタヌーガ堆積盆地)



2007 センター試験 第 2 問 問 3

アメリカ合衆国の工業地域のトクチョウについて説明した文として誤っているものを次の①～④のうちから一つ選べ

- ① サンノゼを中心とする工業地域は、半導体や集積回路を生産する企業が多数立地しており、シリコンバレーと呼ばれている。
- ② シアトルを中心とする工業地域では、豊かな森林資源を生かした製紙・パルプ工業や、第二次世界大戦後に発達した航空機産業がさかんである。
- ③ ピッツバーグを中心とする工業地域では、移民労働力を利用した毛織物工業が古くからさかんであり、労働集約的な生産が行われている。
- ④ ヒューストンを中心とする工業地域では、付近で産出される豊富な石油や天然ガスを背景に、石油化学コンビナートが立地している。